

# 県連ニュース

2008年11月1日発行  
栃木県勤労者山岳連盟

第4回理事会	1
安全登山講習会のお知らせ	2
読図講習会(初級)の開催のお知らせ	3
第31回 北関東三県交流ハイキング 開催要項	4
念仏平避難小屋完成	4
第6期ハイキング楽校 第6回実技山行～裏妙義～	5

## 第4回理事会

08年10月20日(月) 19時30分より  
雀の宮地区市民センター

増田俊雄(悠遊)

八木沢昌通(宇HC) 竹内 律(岳人) 橋田弘一(宇HC)

森 初芳(アサブル) 吉岡昌徳(宇HC) 小嶋利武(山人) 望月次夫(野木)

高島 浩(悠遊) 神村博忠(マロニ) 松山久夫(マロニ) 松本一夫(山の会)

菊池栄治(野木) 横屋昭典(上三川) 平塚洋子(山の会) 出席者

### 1, 各部局委員会の、活動状況の報告と予定について

#### ①事務局

今年も例年通り労山カレンダー販売(100部)のご協力をお願いします。

11月末日現在の組織人数を、12月20日までに事務局まで報告をお願いします

#### ②組織部

北関東三県交流ハイクについて検討しました。詳細は別紙にて掲載します。

#### ③教育部

11月15日 読図講習会、11月29日 安全登山講習会 について

実施要領等の報告がありました。

#### ④自然保護部

10月19日開催の、県連交流ハイキングにおいて、携帯トイレ125個の普及をいたしました。引き続き、各会に普及のご協力をお願いしていきます。

10月18日19日開催の関東自然保護集會に、2名が参加しました。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊男 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

⑤広報部

11月号の原稿を、今月末までに提出してください。

⑥遭対委員会 救助隊

⑦海外委員会

⑧ハイキング委員会

10月19日、県連ハイキング交流集会在、冒険活動センターと周辺の山に於いて実施されました。参加人数などは、まとまり次第に報告します。

⑨登山学校

⑩ハイキング楽校

～事故事例から学ぶ～

**安全登山講習会のお知らせ**

一つの重大事故の陰には、29の軽症事故と300のヒヤリハットが隠れている

栃木県勤労者山岳連盟 教育部・遭難対策委員会

週明けの新聞を見ると山での滑落や道迷いなどによる遭難の記事が目につきます。

こうした事故の裏側には、目に見えない事故一歩手前のヒヤリハットがあります。

痛ましい事故をなくし、安全に楽しく山歩きをするため、あらためて、登山にひそむ様々な危険について、一度皆で考えてみませんか。

◆ **テーマ**

～事故事例から学ぶ～「**遭難しない登山を目指して**」

全国連盟の遭対部長として、経験豊富な井芹さんにお話をさせていただきます。

◆ **日時**

○11月29日(土) 午前10時～12時

午後は、東稜(岩場あり)から古賀志山をめざしませんか?

※ 午後の行動は、主催事業ではありません、自由参加でお願いします。

午後1時半、森林公園駐車場(トイレ付近)集合

◆ **場所**

宇都宮市 城山(しろやま)地区市民センター

宇都宮市街地から、大谷街道を西進、「県連事務所」入り口手前100m左手  
道路上に「宇都宮市城山地区市民センター」の看板あり

◆ **講師**

日本勤労者山岳連盟 遭対部長 井芹 昌二 氏

(埼玉 登攀クラブ岩つばめ 所属)

◆ **定員・申し込み**

50名(若干50名を越えてもOKです)、

各会まとめて、メールで教育部(竹内)まで、お願いします。11月22日(土)期限

問い合わせ 教育部:竹内 TEL028(661)1091

## 読図講習会(初級)の開催のお知らせ

身体で覚えるまで、何回でも挑戦しよう

主催：栃木県勤労者山岳連盟 主管：宇都宮ハイキングクラブ

今回も初級の皆様を対象とします。

山屋だったら、2万5千分の1の地図はいつも身近において、山登り。学んだら実践、今どこにいるのか、これからどっちに行けばいいんだろう？ 特に下りは要注意。

誰もが持つ素朴な疑問。そんな皆さんの不安を解消し、野山をワンダーフォーゲルするため、まずは、読図の「い・ろ・は」を学ぼう。

講師：宇都宮ハイキングクラブ会員

### ◆ 日時・場所

2008年11月15日(土) 午前9時00分～午後3時30分

場所：宇都宮市国本（くにもと）地区市民センター&宇都宮市森林公園

※ 国本地区市民センター

宇都宮市宝木本町（たからぎほんちょう）1868-1 TEL028-665-1041

市森林公園の駐車場を出たら直、東へ。ゴルフ場を通り越し、真っ直ぐ東の方向になります。

市森林公園—国本地区市民センターは、車で10分です。

### ◆ 日程

・午前9時00分～正午 机上学習（宇都宮市国本地区市民センター 会議室）

机上学習後、市森林公園へ移動(車で10分)各自昼食

・午後1時～午後3時30分 野外（市森林公園）で実技学習

### ◆ もってくるもの

コンパス、大谷25,000分の1の地図、定規（40cm以上）、赤ボールペン、筆記用具、昼食

### ◆ 雨のとき

多少内容を変更しますが、実施します

### ◆ 申し込み・定員

各会とりまとめ、教育部竹内まで、電話・fax、メールで、定員(30名)になり次第締め切ります。  
(最終締め切り11月10日(月))

メール：栃木県連盟 ML へ、又は電話・fax:028(661)1091 竹内 自宅

## 第 31 回 北関東三県交流ハイキング 開催要項

主催：栃木県勤労者山岳連盟

理事長 八木沢昌通

日時 平成 21 年 1 月 18 日（日）

受付 宇都宮市森林公園 バーベキュー広場 午前 8 時 40 分より

（森林公園駐車場は 8 時 30 分開場です）

開会式 午前 9 時 00 分

所在地 宇都宮市福岡町 1074-1

カーナビの場合、以下の電話番号を参照してください

TEL.028-652-3450（森林公園管理センター）

TEL.028-652-4497（サイクリングターミナル）

### 1、交流山行コース

A 一般向き 古賀志山 南階段コース

B 一般向き 古賀志山 北登山道コース

C 一般向き 天狗鳥屋山コース

### 2、交流会

バーベキュー広場にて交流会

豚汁を用意します。

### 3 申し込み締め切り 平成 21 年 1 月 8 日

各会とりまとめのうえ、別紙申し込み用紙にて、参加者の氏名、参加コースを明記して申し込んでください

申込先 吉岡昌徳 宇都宮ハイキングクラブ

宇都宮市さつき1-11-32

t e l 028-653-5956

アドレス [myoshioka-m@nifty.com](mailto:myoshioka-m@nifty.com)

## 念仏平避難小屋完成

金精峠～根名草山～奥鬼怒の念仏平避難小屋は、老朽化がひどく、いままで、栃木県勤労者山岳連盟で補修、清掃を行っていましたが、今般私たちの要望がかなえられ、栃木県が小屋の新築を行い 10 月 29 日から使用できるようになりました。（トイレが設置されなかったのは少し残念ですが）

当初は現在地に立て替える計画でしたが、現地調査の結果旧小屋は群馬県側に立っていることが判明し、一時とん挫しましたがその後少し離れた栃木県側に新築することになりました。

旧小屋については現在取り壊しが行われています。また、新小屋の補修、清掃等は引き続き栃木県勤労者山岳連盟が行っていくようになると思います。

## 第6期ハイキング楽校

# 第6回実技山行～裏妙義～

～難場通過技術～

日 時 : 2008年09月 14日 (日)

天 気 : 曇り時々晴れ

コース :

石橋P⇒岩船P⇒太田・足利IC⇒松井田IC⇒国民宿舎P・・・丁須の頭・・・チムニーの鎖場・・・丁須の頭・・・国民宿舎P (入浴) ⇒松井田IC⇒太田・足利IC⇒岩船P⇒石橋P

第6回実技山行のテーマは、難場通過であり、今回も実践的な訓練が可能な裏妙義にて、難場通過技術（鎖場通過法 及び固定ロープを活用した岩場登降）の実技講習を行うことになった。ただ、出発時から雨が降りやまず、場合によっては講習場所の変更も考える必要があるか心配したが、天気予報通り、現地に到着する頃には、天気も回復しそうだったので、大貫CL、八木沢SLからは、予定通り実施するとの指示があった。

以下、ハイキング楽校生の感想文を読んでください

<第6回実技山行（裏妙義）記録・感想文>

マロニエHC 吉田美枝子

9月14日(日)石橋駅東口Pを予定通りAM5時出発です。昨夜からの雨がまだ降りやまない中、バスは岩船Pで仲間達を乗せ妙義山へ向かう。上信越高速道路に入る頃から徐々に雨が降りやんで来て、松井田ICを下りる頃には雨も上がっていました。

裏妙義国民宿舎の駐車場で、ストレッチを行い、国民宿舎横の登山口から出発です。私にとって初の岩場登降、うまく登降できるのか。また、蛭もいるというので噛まれたらどうなるんだろうとの緊張と不安に心が揺れます。

いくつかの小さな沢を渡った後は籠沢沿いの道となる。湿度が高く風の無い山中を登って行く。歩き始めると、班長について行くのが精一杯で、噴き出す汗をぬぐいながら、大きな岩の塊や鎖場をどうにか越えて進む。

そして、2番目の鎖場では、大貫CLが設置した固定ロープと鎖を掴みながらスベリそうな岩場をよじ登る。鎖、ロープだけに頼らずに両手両足の3点確保で移動する。そのほうが握力、腕力の疲労が違って来るし身体が安定するそうです。勉強になります。



両手両足で3点確保

その後も上りがつづき、更に長い鎖を登り切ると、ようやく右から御岳経由の道が合流する稜線についた。

ここで昼食かなと思ったのですが、もう少し頑張れーと言われながら稜線を少し下って左側のトラバース道を通って回り込むと丁須の頭基部への登り口に到着した。ここで、大貫CLから指示があり、簡易ウエストハーネスと自己ビレイ用スリング+カラビナを装着する。ここから、丁須の頭に登るまで難場通過訓練です。すぐに左斜面に鎖場が現れ、垂直に登った後、右に横パイするように鎖が付けられている岩場を「支点と支点の間は1人づつ・・・」などの注意を受けながら、カラビナ2個を架け替えながらトラバース。

やっと丁須の頭で昼食とのことですが、ここも大岩を上がらないと食べられません。マ



裏妙義国民宿舎Pにて

ッシャーで登ります。急斜で躊躇している私に「大丈夫だから行けー！」とYさんの声が響きます。結び方は間違っていないか、ホントにわたしを支えてくれるのか心配です。何度もまわりのひとに確認してもらいクリア。やっとごはんです。強い日差しでしたが、今日は冷やし中華にして正解・・・それに美味しいおすそわけもありほっとひと息♪♪遠くに烏帽子山を見ながら・・・山頂は狭かったので今回全員での記念写真はナシでした。残念！

昼食後、尾根伝いに少し行くと、チムニー（岩溝）の鎖場があります。狭いチムニー内に鎖があり、15m位と言いますが、下の人が小さく見えてわたしにはその3倍位に感じます。順番を待つうちに恐怖で降りるのを止めたくなくなってきました。無事に降りてもまた自力で上がってくる自信が持てません。

簡易ハーネスにカラビナを掛け、ロープを結び私の番、ムンターで制動しながら降りるみんなとは違い、下でビレイしてもらいテンションで降りていく。それでも恐くて足がすくみます。1歩が出ないわたしに先生たちからアドバイスをもらう。簡易ハーネスが骨に食い込んで苦しい。もう引き返せない 地面に足が着いた！うれしい！ \(\hat{o}\hat{)}\)

その喜びもつかの間、戻りが待っています。自分の手と足を使って登ってこいとの指示

に、覚悟をきめてGO！手、足をしっかりと岩にかけ1歩ずつ登って行く。途中、足を出す場所が見つけられなくなり動けなくなって、上から垂らしてもらったスリングを掴み、下から足を押えてもらってようやく登り切る。またまた先生たちに助けられました。よかった、よかった。感謝！感謝！

あっという間に予定時間を過ぎもう2時近い、急いで帰り仕度をしてピストンで帰路につく。

そして、登る時にも固定ロープを張った2番目の鎖場では、岩場の下降をムンターを使っての懸垂降下で下りる。皆さん訓練のときよりスムーズに降りている。私も今日初めてムンターなのに、岩場降下訓練の効果なのか、それ程の恐怖感もなく、「岩面に90度になれ・・・」などの声に助けられ、何とか着地できたときはうれしかった。（やった！）

汗だくで歩きつづけ、国民宿舎に4時20分無事帰還。入浴タイム～極楽で～す。

初の難場通過～おかげ様で充実した1日を過ごせました。ありがとうございました。

吉田美枝子



チムニーの鎖場での懸垂降下と鎖場の登攀訓練